

校訓	真善美	平成28年度学校だより	発行日	平成28年9月13日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる-	「荒中だより」 第19号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

自分に克つ

朝夕はめっきり涼しくなってきましたが、日中は相変わらず暑い日が続いています。体調管理に留意し、けがをしないよう気持ちを引きしめて、体育大会へ向けた練習に取り組んでください。

さて、8月のオリンピック開催中はテレビにくぎづけでした。先週末にパラリンピックが始まり、「今度はどんなドラマが見られるのだろう」とわくわくしています。

プロ車いすテニスプレイヤーの国枝慎吾くにえだしんごさんは、北京、ロンドンに続き、シングルスでの3連覇の期待がかかります。国枝さんは小学生の頃、野球少年でした。9歳の時に、脊髄腫瘍せきずいしゅようという病気にかかり歩けなくなってしまいました。「もう野球ができない」と大変落ち込んだそうですが、6年生の時に、お母さんから車いすテニスを教わり、始めました。彼のモットーは、『自分に克かつ』です。私たちは辛いことや苦しいことがあればやめたくなくなってしまうことがあります。そこでやめたら、自分に負けてしまうことになります。国枝さんは今年の4月に肘ひじの手術を行い、パラリンピックに備えてきました。自分に負けず、挑戦し続ける国枝さんの姿から自分に負けない気持ちを学びたいと思います。



伊丹市中学校英語暗唱・スピーチ大会で優勝!!

9月3日(土)、伊丹市産業・情報センターにて『第29回 伊丹市中学校英語暗唱・スピーチ大会』が行われ、3年生甲斐鈴音さんと猪嶋莉央さんが「スピーチの部」、2年生山本紗椰さんが「暗唱の部」に出場しました。

甲斐さんは、「How I Taught My Hands to Speak」というタイトルで、手話を交まじえながら堂々と聴衆に語りかけ、見事優勝しました。甲斐さんは、12歳のときに

「手話」と出会い、習い始めました。「手話」を教えていただいた先生の「不便は感じるけど、不幸だと思ったことはない」という言葉に感銘を受け、障がいを持つ人に対する考え方が変わったそうです。「**将来は手話通訳になり、聴覚障がいのある**

人々と健聴者との距離を縮めたい」と語りました。

一方、猪嶋さんのスピーチは、「Alarm Clock」というタイトルでした。かつて、世界中で信頼が高かった“Made in Japan”。しかし、周りに合わせることや、



踏襲する（今までどおりのやり方をそのまま引き継ぐこと）ことにばかり気をとられていると、日本は世界の流れに乗り遅れてしまうと**警鐘**を鳴らす大変深い内容のスピーチでした。山本さんは、「The Giving Tree」という1本の木と少年の成長について書かれた物語の暗唱を行いました。年を重ねていく木と少年を演じ分けながら、優しい声で堂々と発表できました。

甲斐さんと猪嶋さんは、10月1日（土）に、よみうり神戸ホールで行われる『第68回高円宮杯中学校英語弁論大会兵庫県予選大会』に出場します。さらに磨きをかけて、頑張ってきてください。

お知らせ

- ① 大塚恵子先生が産前休暇に入られたので、8月26日から**松岡史雄先生**が代わりに来られています。松岡先生は、脚本や映画の仕事をされていたこともあるそうです。松岡先生の経験から色々なことを教えていただけるとと思います。
- ② 陸上競技部の**柴田賢太郎君（2年）**が、8月27日（土）に加古川市陸上競技場で行われたジュニア・オリンピック兵庫予選会において、110mハードル走に出場し、15'33で優勝しました。おめでとうございます。

お詫び

前号の内容に間違いがありました。

訂正してお詫びいたします。



藤原 → 菅原（すがわら）



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!